

小学校第3・4学年道徳学習指導案

平成28年6月15日(水) 第2校時

児童男子4名 女子5名

授業者 岩越 恵

1 主題名

みんなの物を大切に 規則の尊重 小学校 中 C (11)

2 ねらいと教材

(1) ねらい

自分のゴミを街中に捨てることは、まわりの人々を嫌な気持ちにすること、反対に、自分が捨てたわけではないゴミを拾うことは見ている人も自分自身もいい気持ちになることに気づき、公德を守って生活していこうとする態度を養う。

(2) 教材名

「ジュースのあきかん」 (新 生きる力 3年 日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

街を歩いていると、道ばたに落ちているごみを見かける。電車の車内にでもゴミが落ちていることがある。「少しぐらい。」「他の人も捨てているから。」という気持ちで人びとがゴミを捨てていると、街の中にゴミがあふれ、みんなが嫌な気持ちで過ごさなければならなくなってしまう。自分のごみはきちんとゴミ箱に捨てる。もちかえるという行為をみんなが行っていれば、街中のごみはなくなるはずである。誰が捨てたかわからないごみを拾うことは、なかなかやりづらいことであるが、もしも、ちょっとしたゴミを自分から拾うことができれば、すがすがしい気持ちになるということについて児童に理解させたい。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、自分が出したごみは、きちんと片づけようとしていることができる。ただ、自分の出したものでなければ意外に無頓着だったり、出した人が片付けるべきという考えが強い児童も見られる。その都度声をかけ、片づけるように言うと、素直に片づけることができる児童も多いが、自らの行動にはなっていないと感じる。みんなのことを考えることができ、みんなの使う場所では、みんなで整理できる児童をめざしていきたいと考える。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本資料の主人公「あつし」は、電車の中で床に転がっているジュースの空き缶を、まわりのおとなたちが拾わないので、自分も靴の先で蹴ってしまう。空き缶は、反対側に座っている女の人の足元に転がっていった。その女の人は空き缶を拾うと、電車を降りるときにホームのごみ箱に捨てたのである。カランという空き缶の音が、あつしの心に響いた。

道徳の授業においては、対話の生まれる授業に迫るため、役割演技やグループでの話し合いなど展開に工夫を入れているが、きまった児童の意見しかでなくて、まだまだ対話の生まれる授業に迫っていない。

本時の学習においては、資料を2つに分けて提示する。資料の前半では、車内を転がる空き缶のおもしろさに、公德心を忘れ、遊び心で興味をもつあつしの「汚い」「嫌だ」という気持ちに児童を近づけておく。空き缶を拾い上げた女の人がその後どういった行動を取るのかを予想させ、それぞれの立場で話し合いをさせることで対話を生み出していきたい。そして、後半を提示し、女の人が空き缶を拾い上げ、ホームのごみ箱に捨てるのを見たときのあつしの驚きを通して、ねらいに迫らせていきたい。

4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
	(1)拾ってきたジュースの空き缶を見て話し合う。	<p>○ 空き缶が落ちているのを見たことがありますか。どんなところで見ましたか。また、それを見たときどう思いましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機のそば。 ・ゴミ箱のまわり。 ・道ばた。 ・気持ち悪い。 ・汚い。 	<p>○空き缶を見せることで、身近にある空き缶のゴミについて学習すること、人の飲んだあとのジュースの缶からは、飲み残しがこぼれるだろうという汚いイメージがあることを押さえ、資料の主人公の気持ちに近づきやすくする。</p>
	(2)資料「ジュースのあきかん」を読んで話し合う。	<p>① 高校生ぐらいの男の人がジュースの空き缶を置いて降りて行ったのを見たとき、あつしはどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のゴミは自分で捨てればいいのに。 ・嫌だなあ。汚いなあ。 ・どうして置きっぱなしにするんだろう。 <p>② 転がっている空き缶を見て、あつしはどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こっちへ転がって来ないでほしい。 ・嫌だなあ。汚いなあ。 ・こっちへ来たらどうしよう。 ・みんな知らんぷりしてるな。 ・ころころ転がっておもしろいな。 <p>③ 女の人が空き缶を立てたあとどうなったでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立てたままで電車を降りる。 ・空き缶を片づける。 <p>④ 女の人がごみ箱に空き缶を捨てるのを見て、あつしはどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偉い人だなあ。 ・僕がすればよかったなあ。 ・空き缶を蹴るんじゃないかな。 ・次は僕も片づけたい。 	<p>○みんなで使う場所に自分が出した空き缶のゴミを置いていくのを見て、嫌な気分になったあつしを捉えさせる。</p> <p>○転がっている空き缶を見て、感じたあつしの気持ちを想像させ自由に発言させる。</p> <p>○資料の後半を予想させ自由に発表させる。</p> <p>○女の人がさりげなく空き缶を捨てる様子を見ていて、尊敬するとともに、その行為がすばらしいということを押さえる。また、まわりの人々までも清々しい気持ちにすることに気づかせる。</p>
	(3)身近にある約束やルールについて考える。	<p>○ 『わたしたちの道徳』「約束やきまりを大切にすること」を読みましよう。みんなで気持ちよく暮らすための約束やきまりにはどのようなものがあると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番を守って遊ぶ。 	<p>○集団や社会のために自分が何をすればいいのか、また、自分に何ができるのかと、果たすべき自らの義務を考えたことを押さえる</p> <p>○住みよい社会にするためには、自分のできるところから、少しずつ実践していくことに気づかせる。</p>
	(4)教師の話聞く。		<p>○児童の身近な事例やもとに話し、実践への意欲づけを行う。</p>

準備物 場面絵 空き缶 転がっている空き缶の写真 ワークシート

○板書計画

ジュースの空き缶
 社会のきまり

カ ラ ー ン

△▽

△▽

チ ョ ン

コ ロ コ ロ

コ ト ン

- ・ すてないのはいけない
- ・ よごれる
- ・ めいわくだなあ
- ・ よごれるなあ
- ・ こっちに来なければいいのに
- ・ おもしろい
- ・ こぼれちゃったなあ
- ・ 女の人もけり返すかな
- ・ おもしろいなあ
- ・ けるんじゃなかった
- ・ 自分も拾うことができたのに
- ・ えらいなあ
- ・ ころがったままにならなくてよかった
- ・ 電車の中がもう汚れないからいい
- ・ これからはほくも拾おう

5 評価

自分が捨てたゴミでなくても捨てなくてはいけないという意識をもつ。
 (発言 ワークシート)

6 他の教育活動との関連

